

ケーソンクリーパーL型

摩擦増大用ラバー



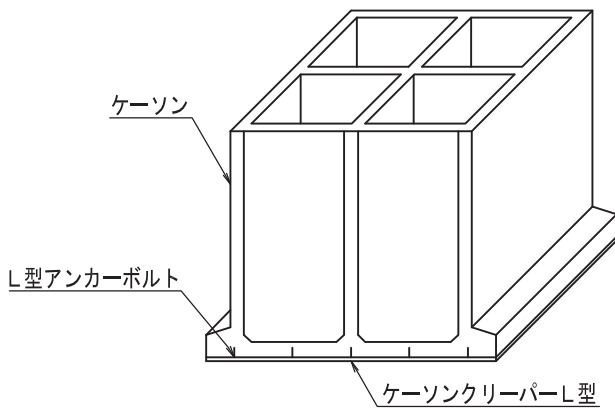
西武ポリマ化成株式会社

はじめに

ケーソンクリーパーL型は、捨石マウンドとケーソン底部との間に敷くことにより摩擦力を増大させ、ケーソンの安全性を高める為に使用する摩擦増大用ラバーです。

ケーソンクリーパーL型設置を検討することにより海洋構造物を経済的に設計でき、耐震性を有する材料として、特にRC製ケーソンにおいて有効に活躍しています。

ケーソンクリーパーL型は、再生ゴムを主原料とし、強固に結合された均一な材料を使用しており、アンカー方式においても施工性を十分考慮した構造としております。



特長

1. 摩擦係数を0.75以上に設定

ケーソン底部に敷設されたゴム部が捨石マウンド面の凸凹部に食い込み、ケーソンとマウンドとの摩擦係数を0.75以上で設定可能です。

[通常ケーソンと捨石マウンドとの摩擦係数は0.6以上です。]

* 港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成30年5月 公益社団法人日本港湾協会)上巻 P.522

2. 施工が簡単

納入されたケーソンクリーパーL型を所定の位置に敷設後、ゴム本体に一体化されたL型アンカーボルトを引き起こすことで敷き込み作業が完了します。

3. 優れた耐久性

使用するゴムは耐海水性・耐久性に優れており、ゴムの弾性により縦・横方向の外力を吸収して安全性を高めます。

また、取付金具部がゴムに被覆されているので海水による金具の腐食がなく、耐久性に優れています。

L型アンカーボルト使用例



収納されたL型アンカーボルト

ケーソンクリーパーL型 敷設後、ゴムに収納されたL型アンカーボルトを引き起こします。

L型アンカーボルトの引き起こし後、敷設、配置されたケーソンクリーパーL型の上に配筋及び型枠を組み込み、コンクリートを打設します。

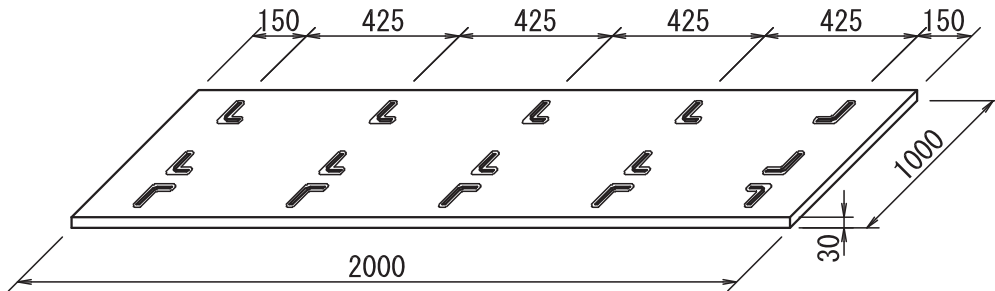


物理的性質

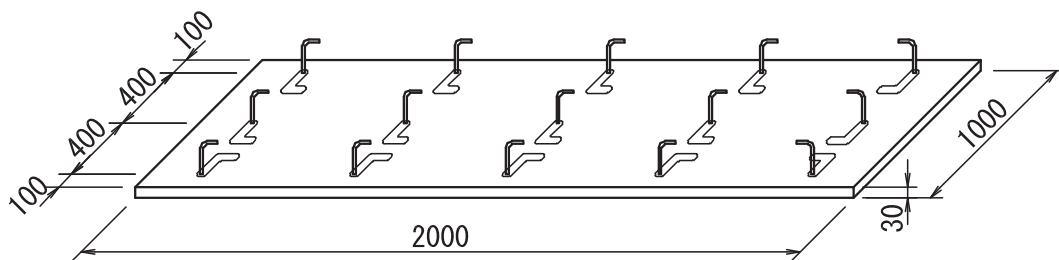
試験項目		基準値	試験条件・方法
引張試験	引張強さ	4.9MPa以上	JIS K 6251 ダンベル状3号形
	切断時伸び	160%以上	
硬さ試験		55~70	JIS K 6253-3 デュロメータ硬さ試験 (タイプA)
引裂強さ		18N/mm以上	JIS K 6252 (切込みなしアングル形)
※促進老化試験	引張強さ	3.9MPa以上	JIS K 6251 ダンベル状3号形
	切断時伸び	140%以上	
	硬さ	加熱前値の±8以内	JIS K 6253-3 デュロメータ硬さ試験 (タイプA)

※促進老化試験はJIS K6257促進老化試験(AA-2)、ノーマルオープン法とし、試験温度は70±1℃、試験時間は96 $\frac{1}{2}$ 時間とします。

型式	標準寸法 (mm)	質量 (kg)
ケーソンクリーパーL型	30×1000×2000	72



L型アンカーボルト収納時



L型アンカーボルト引起後

寸法公差

型式	厚さ (mm)	外形 (mm)
ケーソンクリーパーL型	±2	±15

※製品の形状・寸法は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

代理店



JQA-QM4493



西武ポリマ化成株式会社

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-2
 電話(03)3527-9817 FAX(03)3527-9828
 大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-6-10
 電話(06)6252-8381 FAX(06)6252-0891
 名古屋支店 〒483-8145 愛知県江南市小郷町西ノ山 55
 電話(0587)54-2136 FAX(0587)54-2175
 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-14-34
 電話(092)441-8595 FAX(092)481-0774
 北海道営業所 〒060-0062 札幌市中央区南二条西 6-12-1
 電話(011)219-3020 FAX(011)219-3022
 名古屋工場 〒483-8145 愛知県江南市小郷町西ノ山 55
 電話(0587)54-2111 FAX(0587)54-2124
 ホームページアドレス <https://www.seibu-p.co.jp/>